神奈川県

令和8年11月2日
記者発表資料

神奈川県介護賞の受賞者が決定しました

第３３回神奈川県介護賞の受賞者を発表します

県では、多年にわたり県内の社会福祉事業に従事し、介護業務について特に功労のあった方を表彰しています。このたび、第 33 回神奈川県介護賞の受賞者が決定し、第 73 回神奈川県社会福祉大会で表彰式を執り行いますのでお知らせします。

１　受賞者

３名（資料　参照）

２　贈呈式

「第 73 回神奈川県社会福祉大会」において、各賞の贈呈式を行います。

(1)日時　令和8年 11 月９日（月曜日）午後2時 40 分から

(2)場所　神奈川県立青少年センター（横浜市西区紅葉ケ丘9番地の1）

(3)表彰者　神奈川県知事　黒岩　祐治　　授与者　神奈川県副知事　平田　良徳

３　取材について

当日の取材は可能です。受付の際、報道関係者である旨をお申し出ください。

・個人が特定できるような写真の撮影はご遠慮ください。

・大会の録音はご遠慮ください。（メモは可能です。）

・その他、取材場所等については当日の係員の指示に従ってください。

4　参考

第 73 回神奈川県社会福祉大会について

(1)主催　神奈川県、社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会、
　　社会福祉法人神奈川県共同募金会

(2)参加者　社会福祉施設・団体関係者、民生委員・児童委員、共同募金会関係者など

(3)内容

・記念講演（午後1時 35 分から午後2時25分）
　村木　厚子　氏（全国社会福祉協議会　会長）
　「誰かのために動けてこそ、人は強くなれる　～支える人・支えられる人を分けない地域へ～」

・贈呈式（午後2時 40 分から午後3時 40 分）
　神奈川県知事表彰
　（神奈川県介護賞、神奈川県社会福祉関係者等表彰など）
　神奈川県社会福祉協議会会長表彰及び感謝
　（団体・施設役員従事者、民生委員・児童委員等の永年勤続功労、ボランティア功労など）
　神奈川県共同募金会会長感謝

ともに生きる社会
かながわ憲章
KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

一　私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
一　私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
一　私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
一　私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

問合せ先

神奈川県福祉子どもみらい局福祉部地域福祉課
副課長　　久保倉　電話 045-210-4741
福祉介護人材グループ　　大和　　電話 045-210-4755

ともに生きる

資料

第33回神奈川県介護賞受賞者

（50音順、敬称略）

番号	氏名	施設種別	現在勤務している施設名 （所在地）
1	 いいの　ともとり 飯野　智規	特別養護老人ホーム	横須賀グリーンヒル （横須賀市）
	利用者一人ひとりの状態や性格をよく理解し、声かけや説明を十分に行った上で介助に努めています。不安が強い利用者に対して落ち着いた口調で丁寧に関わり、ご家族からも「丁寧に対応してくれる職員」として好意的なご意見をいただいています。新人職員への指導にも前向きに取り組み、業務手順の説明や実技のフォローなどを行い、施設の中核を担う人材として活躍しています。		
2	 いわさわ　あけみ 岩澤　明美	特別養護老人ホーム	美山特養ホーム （三浦市）
	日々の業務フローの見直しや効率化を主体的に提案・実践することで、チーム全体の業務負担軽減と利用者満足度向上に努めています。特に外国人職員の指導・育成に積極的に携わり、日々のコミュニケーションから技術指導まで根気強くサポートを行っています。介護実践において他の模範となり、自立した優秀な介護職員の育成に多大な貢献を果たしています。		
3	 ほしの　たかよし 星野　敬義	福祉型障害児入所施設	精陽学園 （平塚市）
	常に利用者主体の視点から利用者に寄り添った支援を誠実に行い、利用者の満足や安心につながる支援を心がけています。一人ひとりの心の状態にも細心の配慮を行うことで信頼関係を築き、利用者のより良い生活を目指して個別支援計画を実行しています。相談しやすい雰囲気を作り、一緒になって悩み、解決する良いチームワークを作ることが出来ています。		

※了解を得た上で、写真を掲載しています。